

留学体験（現地）レポート

国際文化学科 21014114 三宅夢華

私は8月31日から12月25日までの約4か月の間、韓国のフェギというところにあるキョンヒ大学の国際教育院で留学をしてきました。

この交換留学には語学力を向上させる、そして自立心を身に着けるという目標をもって参加しようと思いました。

日本にいるときも韓国語には触れていましたが、実際留学に行ってみると日本語ではない言葉しか身の回りにない場所での生活はとても大変でした。しかし慣れていくうちにいかに貴重な時間を過ごしているかということに気づくことが出来ました。

大学では9時から13時までは文法などの韓国語の授業、そして14時から16時までは国際情報大学の私たちだけで文化の授業をしました。

午前中の授業は最初の3週間は日本人しかいないクラスでしたがそれが終わると色んな国の人たちがいるクラスでした。お互いに文化の違いを受け入れ、現地学習の1泊2日を通して先生たちにも言われるくらい雰囲気よく仲のいいクラスになりました。

まだ韓国で頑張っている人や自分の国に帰った人もいますが、またいつかみんなに会いたいです。

学校が終わった後や休みの日はクラスの人とご飯を食べたり、国情の友達といろんなところに行ったりして過ごしました。私の周りにはK-POPが好きな友達が多かったので、一緒にライブにいたり音楽番組を見に行ったりしていました。

韓国で出会った先生方、寄宿舍のおじさんおばさん、食堂で働いている方、寄宿舍の前のコンビニの店員さん、近所のご飯屋の店員さん、電車や出かけた先などで出会った人たちなど、韓国で出会った方たちはとても優しく私たちに接してくれたことがとても嬉しかったです。初めは歴史問題を心配していましたがそんなことは全くありませんでした。

私はこの留学を通して人との関わり大切さを改めて感じる事ができ、自分から行動することの大切さも身をもって実感することができました。目標としていた語学力の向上も自立心を身に着けることも達成できました。

辛いときや困っているときに助けてくれた友達や、いつも優しく接してくれた韓国で出会った方々、お金がかかったにも関わらず文句を言わずにおかえりと言ってくれた両親に感謝しています。

この留学での経験を生かしてこれからは何事にも積極的に取り組みたいです。